

令和4年第1回美浜町議会臨時会

(令和4年2月8日開議)

町長あいさつ（提案理由の説明）

本日ここに、令和4年第1回美浜町議会臨時会を開催しましたところ、議員各位には、公私ともに御多用とは存じますが、お繰り合わせご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

議員各位におかれましては、任期最後の議会になろうかと存じますが、第17期美浜町議会議員として、大所高所から町政の発展と町民の福祉向上のため、多大なるご尽力を賜りましたことに対し、敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げる次第であります。

それでは、開会にあたり、町政運営に関する所信の一端を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の状況について申し上げます。

このところ、オミクロン株による感染が急拡大し、「まん延防止等重点措置」の対象地域も全国35都道府県に広がるとともに、県下でも、連日200人を超える感染者が確認されるなど、未だ終息を見通し難い状況となっております。

本町におきましても、年明け以降55名の感染が確認されておりますが、一時期、保育園でのクラスターや、児童の感染も確認されたため、直ちに休園や休校措置を講ずるとともに、幅広のPCR検査を実施するなど、全容の把握と、感染の拡大を最小限に止めるための措置を取ったところであります。

現在は沈静化し、保育園と学校は再開しておりますが、改めて、こうした対応にご理解、ご協力をいただきました保護者はじめ、関係者の皆さんに御礼申し上げる

次第であります。

ワクチン接種につきましては、町内医療機関等のご協力により、9割近くの方々の2回目接種を完了しており、3回目の追加接種を2月7日から開始したところがあります。

また、先月、小児用ワクチンが承認されたことから、5歳から11歳への予防接種開始に向けた準備も進めており、国や県と連携しながら、可能な限り速やかな接種に努めてまいります。

本町といたしましても、引き続き感染防止対策等に、全力で取り組んでまいりますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、情報化社会の推進について申し上げます。

国が個人番号カードの普及促進を進め、各種給付の迅速化や行政手続きのオンライン化など、デジタル化社会を目指す中で、本町におきましても、コンビニでの税金の納付サービスに加え、住民票や戸籍謄本、課税証明書等が取得できるコンビニ交付サービスを新たに導入してまいります。

また、各種証明手数料、使用料等を扱う役場等の窓口でキャッシュレス納付システムを新たに導入し、利便性の向上や、業務の効率化を進めてまいります。

更に、これまで本格運用に向けて準備を進めてまいりましたRPA導入について、新年度から、「会計年度任用職員報酬・給与等支給事務」など3業務について、本稼働させることで、業務の合理化を図ってまいります。

今後とも国、県の動向をはじめ、社会情勢を的確に捉え、町民の皆さんの暮らし、産業、行政における利便性の向上や、業務の効率化に向けた「情報化社会の推進」について、機動的に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、新たなにぎわいの創出について申し上げます。

「にぎわいゾーン」の一角をなす、イチゴ観光農園を、先月オープンいたしましたが、好評を得ており、町内事業者によるイチゴの利活用も進んでいるところであ

ります。

この施設と併せ、相乗効果につながる道の駅「はまびより」につきましても、令和5年春の開業に向け、鋭意事業を進めてまいりますが、こうしたハード整備に加え、にぎわいを吹き込む人づくりなどのソフト事業にも取り組んでまいります。

このゾーンでは、まちの回遊性や利便性、快適性を兼ね備えたにぎわいと交流の創出を目指すもので、その一環として、美浜ブランディングによるファン層の拡大、起業チャレンジ支援や、空き店舗等の活用方策等について、有識者や、女性・若者グループ等によるプロジェクトチームを立ち上げ、多様な視点から検討を進めてまいりたいと考えております。

次に、地域公共交通の充実について申し上げます。

本町のコミュニティバスは、町内全域を網羅する唯一の公共交通機関となっておりますが、利用者の減少に歯止めが掛からず、抜本的な対策が求められております。

そのため、道の駅開業や、北陸新幹線敦賀開業を契機に、住民ニーズはもとより、観光誘客に対応した移動手段の最適化など、既存バス路線も視野に入れた新しい公共交通体系の構築に向け、「美浜町地域公共交通計画」を策定いたします。

次に、北陸新幹線敦賀開業を見据えた観光振興について申し上げます。

北陸新幹線敦賀開業に係る観光誘客の核として整備を進めてまいりました三方五湖レインボーラインの山麓レストランと売店が3月に完成し、4月19日にグランドオープンの予定となっております。

好評を博している天空テラスとともに、より魅力ある観光拠点に生まれ変わり、更に多くの観光客に訪れていただけるものと期待しているところであります。

また、「三方五湖」の湖面や湖畔の観光拠点となる新美浜町レークセンター（仮称）につきましては、新年度の完成に向け、必要な施設整備を着実に進めてまいります。

こうした魅力ある観光資源につながる道路は、自然景観に恵まれたところが多く、ドライバーやサイクリストなど利用者の眺望に対する期待も大きいことから、このような道路を「観光道路」として位置づけ、住民の皆さんのご理解とご協力を得ながら、沿線の維持管理の強化や、花木で彩るなど、おもてなしの気持ちが伝わる環境の整備に努めてまいります。

次に、子ども・子育て支援の更なる強化について申し上げます。

本町の子どもたちが発達段階に応じ、必要な支援が幅広く受けられるよう、「美浜ほっと子育て応援プロジェクト2022」により、子育て応援ホームページの作成や、保育無償化の拡大、子どもたちがワクワクする「プレミアム学校給食デー」の充実、「遊び場マップ」の作成など、子ども・子育て支援対策を充実・強化してまいります。

次に、防災対策等について申し上げます。

近年、全国各地で甚大な自然災害が頻発しており、防災・減災対策を強化していく必要があると考えております。

そのため、防災情報伝達システムやケーブルテレビ等の防災情報基盤の強靱化など、防災体制の充実・強化に努めてきたところでありますが、更なる充実・強化を図るべく、指定避難所のWi-Fi整備、防災拠点となる役場庁舎や「はあとびあ」の非常用発電施設の更新と増強、防災アプリの機能強化などに取り組んでまいります。

次に、美浜町あいあいポイント事業について申し上げます。

昨年スタートした地域あいあいポイント事業は、60歳以上の町民の約1割、460名余りの方に登録をいただくなど、活動が広がっておりますが、更なる利用促進を図るため、これまでのポイント手帳と併せて、スマホアプリを活用し、健康

づくりに効果的な情報の配信や、住民同士のネットワークの構築につながる機能を充実してまいります。

次に、介護人材確保支援事業について申し上げます。

本町の介護事業所のサービスは、高齢者の心身の維持及び家族を支える大きな力となっておりますが、近年、介護人材の確保が喫緊の課題となっていることから、その一環として、新規就労の経済的支援等による人材の確保、定着に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、移住・定住対策等について申し上げます。

人口減少対策は、重要な施策課題の一つであり、「美浜町人口ビジョン」に基づき、若者の定住促進に向けた魅力あるまちづくりや、U I ターンを促進するための支援制度の充実・強化に取り組んでいく他、分譲ニーズを捉え、新たに美浜西小学校校下に、10戸程度の分譲住宅地を整備してまいります。

また、町では、まちづくりの新たな担い手となる「みはま応援クルー・応援人口」の充実・強化を図るため、専用アプリを構築し、参加ポイントの付与やホームページ、SNSと連動したプッシュ型の情報発信等を行ってまいります。

次に、地域力の向上に向けた「美し美浜の地域愛」表彰の創設について申し上げます。

町民のふるさとを愛する気持ちの醸成を図ることを目的に、地域のため、まちづくりや、奉仕活動等を行っている団体を表彰することといたします。

併せて、その活動内容を、町民の皆さんにお知らせすることで、活動の輪が広がることを期待するものであります。

次に、「第34回美浜・五木ひろしふるさとマラソン」について申し上げます。

今大会は、本年5月8日「母の日」に開催を予定しておりますが、参加資格を高校生以上の県内在住者に限定し、参加規模をこれまでの3割程度に縮小するなど、感染対策に万全を期して開催したいと考えており、実行委員会の皆さんを始め、五木ひろしさんや、五木プロの皆さんのご支援とご協力をいただきながら準備を進めているところであります。

次に「美し美浜の宿お泊りキャンペーン」について申し上げます。

コロナ禍の影響を緩和するため、国や県の観光キャンペーンに合わせ、「美し美浜の宿お泊りキャンペーン」を実施しておりますが、1月末現在で6,700人余りの方々にご利用をいただくなど、一定の成果があったと捉えているところであります。

現在、コロナウイルス感染症の急拡大により、こうしたキャンペーンは当面、縮小または停止されている状況ではありますが、新年度において、同様の施策が予定されていることから、本町のキャンペーンを同時継続的に実施することで、町のにぎわい創出と経済の活性化につなげていきたいと考えております。

次に、環境施策について申し上げます。

現在、第二次美浜町環境基本計画の改定に取り組んでいるところであり、それに掲げる循環型社会の形成を図るため、ごみ減量化や、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを推進してまいりたいと考えております。

また、例年大量に漂着する海洋プラスチックごみについては、国、県の支援や、「美しい浜プロジェクト」等により回収作業に取り組んでいるところでありますが、国のプラスチック資源循環戦略等も踏まえながら、ストローや弁当の容器などのワンウェイプラスチックの削減に取り組む「ごみスマートチャレンジ事業」を、海洋ごみはもとより、プラスチックごみに対する意識醸成や、問題の解決につながる施策の一つとして進めてまいります。

それでは、本日ご提案いたしました各議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第1号 令和3年度美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業地域づくり拠点化施設基盤整備工事請負契約につきましては、去る1月24日に指名競争入札を行い、落札者が決定いたしましたので、請負契約を締結いたしたく、議会の議決を求めるものであります。

議案第2号につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた経済対策に必要な経費を、緊急に補正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため、令和3年度美浜町一般会計補正予算（第7号）を12月16日に専決処分いたしましたので、これを報告し、議会の承認を求めるものであります。

次に、議案第3号 令和4年度美浜町一般会計予算につきましては、令和4年度は「第五次美浜町総合振興計画」後期基本計画の2年目の年であり、主に計画に掲げた施策について目標年次に向けた成果を挙げるべく、優先施策を中心に、重点的かつ厳選して予算を編成したもので、予算総額は86億6,254万3千円となり前年度予算額に比べ7,470万3千円の増額となっております。

これは、北陸新幹線敦賀開業に向けた観光施設等の整備、並びに防災拠点となる役場庁舎と「はあとびあ」の自家発電設備の増強、更に、敦賀市との廃棄物共同処理事業の本格化等による投資的経費の増によるもので、当初予算としては、令和3年度を上回る過去最大の規模となったものであります。

なお、施策の内容等につきましては、後期計画のキーワードに沿ってご説明申し上げます。

まず、1つ目のキーワード「情報化社会の推進」に係る施策について申し上げます。地域情報化やDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進を図るため、

その指針となる情報化推進計画に基づくアクションプランの作成や職員のITリテラシー向上に係る経費等として、地域情報化推進事業に651万2千円を、町内小中学校におけるICTを活用した学習環境の充実・強化を図る経費として、学校ICT教育推進事業に834万4千円の他、行政手続きのオンライン化に向けた経費等を計上いたしました。

次に、2つ目のキーワード「にぎわいゾーン整備」に係る施策について申し上げます。

「にぎわいゾーン」の核となる道の駅「はまびより」と駅前広場の一体整備につきまして、令和4年度完成に向けた外構や付帯設備工事等に要する経費として美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業に1億3,317万8千円を、また、「にぎわいゾーン」において若者のチャレンジによる賑わいを創出するための経費として、若者ファンづくり事業に1,094万8千円を計上いたしました。

次に、3つ目のキーワード「北陸新幹線敦賀開業」に係る施策について申し上げます。

嶺南随一の観光資源である「三方五湖」の湖面や湖畔の周遊観光の核となる新レークセンターの建設工事につきましては、令和4年度完成に向け、電池推進船の急速充電施設や外構工事、栈橋整備等の整備費用として、三方五湖ゾーン整備事業に2億8,489万4千円を計上いたしました。

また、道の駅等に多言語での観光案内看板を整備する経費に2千万円を、若狭湾ナショナルサイクリングルート of 整備に要する経費として、550万円などの予算を計上いたしました。

4つ目のキーワード「地域力向上」に係る施策につきましては、防災体制の更なる充実・強化を図るため、津波ハザードマップの作成や指定避難所へのWi-Fi整備、防災アプリの機能強化等に必要な経費として、2,203万9千円を、また、役場庁舎及び福祉避難所となる「はあとぴあ」の防災機能の強靱化を図るため、停電時に庁舎全体に72時間給電を可能とする高性能・大容量の非常用発電機

等を整備する工事費として、役場庁舎につきましては2億7,707万5千円を、「はあとぴあ」につきましては2億7,358万7千円をそれぞれ計上いたしました。

最後に、5つ目のキーワード「人口減少対策」に係る施策につきましては、若者や子育て世代の定住化に向け、新たに住宅分譲地を整備する住宅団地事業特別会計への繰出金として、655万8千円を計上した他、移住・定住促進事業や多世帯同居・近居住まい支援事業では、支援制度を拡充するなど、強化してまいります。

子育て支援の強化につきましては、「美浜ほっと子育て応援プロジェクト2022」に基づき、子育て情報を掲載するホームページを構築する経費として、128万円の他、「子どもの遊び場マップ」作成や保育料等の無償化の拡大、保育士を志す学生を対象に、保育に携わる機会を設ける「きらり保育士インターンシップ」制度に要する予算等を計上いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、4月以降のワクチン接種に係る経費3,616万6千円を、ポストコロナ対策では、経済対策として、国のG o T oトラベル事業と合わせ、宿泊割引等を実施する「美し美浜の宿お泊りキャンペーン」事業に1,724万7千円を計上いたしました。

また、デジタル化を推進する取り組みといたしましては、各種証明書のコンビニ交付の導入経費として、2,941万6千円の他、役場窓口等での手数料や公共施設利用料金等の支払いにキャッシュレス決済を導入する経費として、504万5千円等の予算を計上いたしました。

その他の主なものといたしまして、

民生費では、介護人材の安定確保を図るため、町内の介護事業所に新たに雇用となった介護人材への就労祝金や就労継続祝金を支給する事業に、150万円の予算を計上いたしました。

衛生費では、敦賀市に委託する一般廃棄物処理に係る経費や、新たに建設する清

掃センター及び最終処分場の整備に係る経費の負担金として、3億8,926万8千円を、また、ごみの減量化等を推進するため、各家庭の生ごみ処理機の購入や、飲食店等がプラスチック代替製品を導入する支援対策として、ごみスマートチャレンジ事業に251万7千円を計上いたしました。

土木費では、主要な観光地につながる「観光道路」の緑化や景観整備などを推進するおもてなし街道魅力アップ事業に800万円を計上いたしました。

一方、歳入予算につきましては、町税が40億8,568万4千円、国庫支出金12億1,698万円、県支出金11億919万1千円、繰入金3億9,361万7千円、諸収入で7億3,555万2千円などをそれぞれ充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、議案第4号から議案第14号までの11議案は、令和4年度の各特別会計及び企業会計の予算であります。

これら各特別会計及び企業会計は、それぞれの設置目的に沿って事業の運営経費や建設事業費等の所要額を一般会計に準じて計上したものであり、診療所事業特別会計など10特別会計の予算総額は38億2,621万9千円、また、上水道事業会計の予算額は3億1,007万円であります。

各会計の予算総額等を申し上げますと、診療所事業特別会計では、丹生診療所派遣医師分の人件費などの減額が見込まれることから対前年度比1,297万9千円減の1億2,328万8千円を計上いたしました。

国民健康保険事業特別会計では、医療給付費の減に伴う保険給付費や国民健康保険事業費納付金の減少により、対前年度比5,393万2千円減の12億1,318万9千円を計上いたしました。

後期高齢者医療事業特別会計では、後期高齢者医療広域連合納付金等の増加により、対前年度比2, 240万8千円増の1億5, 739万円を計上いたしました。

介護保険事業特別会計では、保険給付費の地域密着型介護サービスや施設介護サービス給付費等の増加により、対前年度比78万8千円増の11億4, 730万6千円を計上いたしました。

簡易水道事業特別会計では、丹生・竹波簡易水道施設の配水管の更新等に伴う調査・設計業務等の増加により対前年度比4, 300万3千円増の2億7, 508万7千円を計上いたしました。

集落排水処理事業特別会計につきましては、公債費の減少等により対前年度比24万円減の1億5, 244万2千円を計上いたしました。

公共下水道事業特別会計では、浄化センターの修繕改築工事等の事業費の増額により、対前年度比7, 486万円増の5億8, 436万2千円を計上いたしました。

産業団地事業特別会計では、企業誘致促進費等の減により対前年度比209万4千円減の331万6千円を計上いたしました。

住宅団地事業特別会計では、美浜西小学校校下に新たに住宅分譲地を造成する事業費の増額により、対前年度比3, 331万9千円増の5, 158万8千円を計上いたしました。

道路用地取得事業特別会計につきましては、国道27号河原市郷市地区における国庫債務負担行為に基づく用地の先行取得業務が完了したことに伴い、対前年度比5, 486万9千円減の1億1, 825万1千円を計上いたしました。

最後に上水道事業会計であります。県営排水路工事に伴う配水管移設工事の完了等に伴う建設改良費の減により、対前年度比5,543万9千円減の3億1,007万円を計上いたしました。

以上、付議案件の概要について申し上げましたが、何卒慎重なご審議の上妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げ、甚だ簡単ではございますが提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。